

令和5年12月19日

保護者の皆様

枚方市立津田中学校長

令和5年度学校教育自己診断について

師走の候、保護者の皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

平素は本校の教育活動にご理解・ご支援を賜り、誠にありがとうございます。

さて、今年度は「子どもたちの「学び」を充実させる授業」、「生徒が安心して生活できる環境づくり」、「共に支え、学ぶ、同僚性の高い教職員集団」、「家庭・地域・関係機関との連携強化」の4つに視点により、それぞれ重点的な取組を行ってまいりました。

先日、ご協力いただきました「学校教育自己診断にかかるアンケート」と生徒対象の「アンケート」も併せて集計し、考察しました結果を下記の通りご報告いたします。

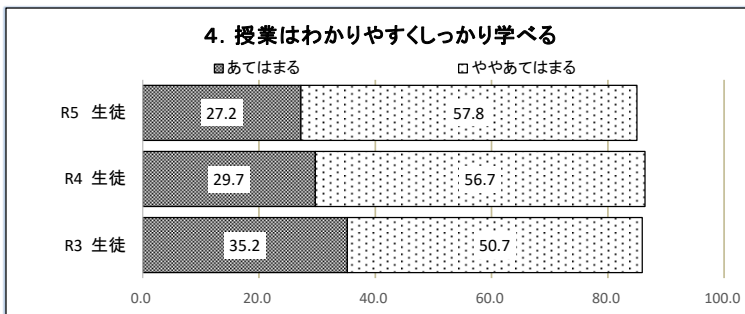
今回の診断結果をもとに、本校の課題を整理し、今後の学校運営に活かしてまいります。

記

1. 集計結果と考察

アンケートの回答における「あてはまる」と「ややあてはまる」の合計を肯定的評価としています。なお、「非回答」を含みますので、合計が100%にならない場合があります。

(1)「子どもたちの「学び」を充実させる授業」にかかる質問項目について

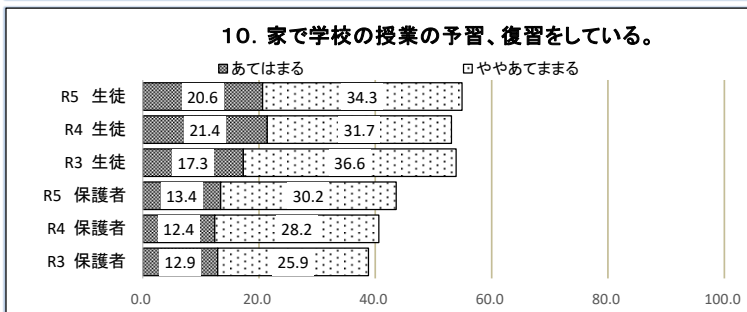
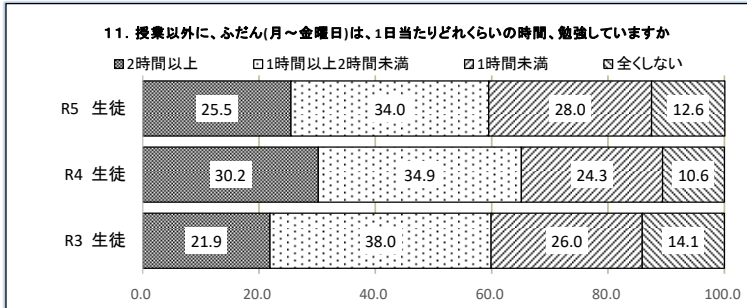
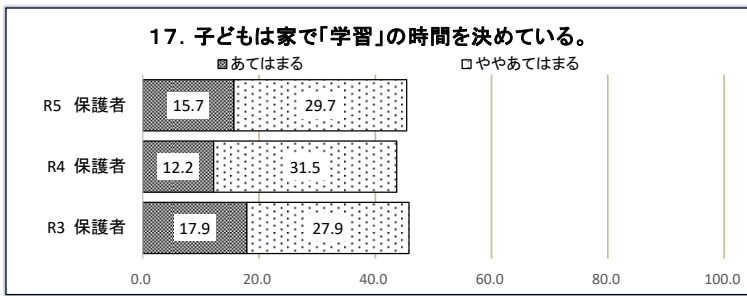


4. 「授業はわかりやすくしっかり学べる」の質問項目について、生徒の肯定的評価の割合は85.0%で、令和4年度と比較して1.4ポイント減少し、令和3年度と比較して0.9ポイント減少しており、過去3年間で最も低い割合となっています。そして、「あてはまる」(強い肯定)と答えた生徒の割合

も、令和4年度と比較して2.5ポイント減少、令和3年度と比較しても8.0ポイント減少しており、過去3年間で最も低く、危機感をいただいております。

「わかった」「できた」と眩きが聴こえる授業の実践を重点的な取組の一つとしてまいりましたが、より一層、個性の伸長を図りながら、学習内容に応じてICT機器(タブレット・プロジェクタなど)を活用し、基礎基本の定着を図りながらも、楽しくわかる授業、一人ひとりが活躍できる授業づくりに取り組む必要性を痛感しております。

今後も継続して相互授業参観や授業研究を行い、生徒一人ひとりが充実した学びを実感できる授業をめざして授業改善に取り組んでまいります。



17.「子どもは家で「学習」の時間を決めている」の質問項目について、保護者の肯定的評価の割合は45.4%で、昨年度と比較して、1.7ポイント増加しました。

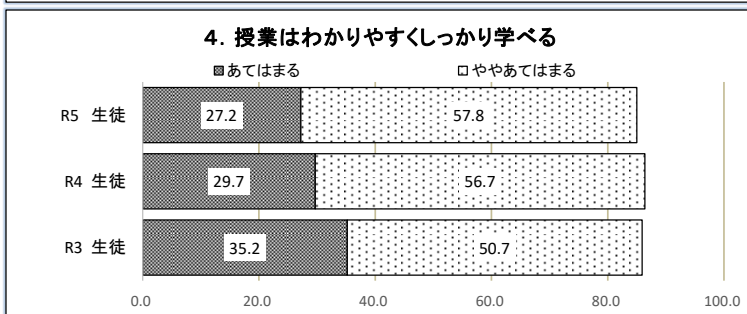
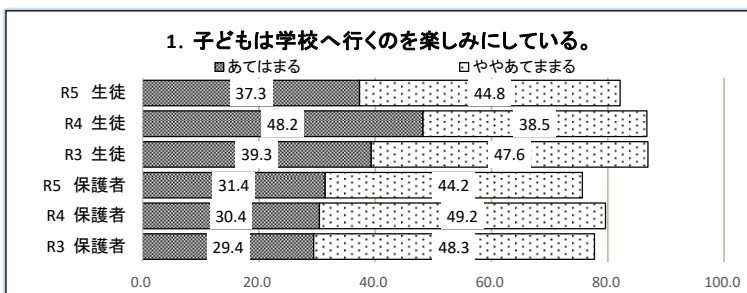
また、11.「授業時間以外に、ふだんは、1日当たりどれくらいの時間、勉強していますか」の質問項目では、「2時間以上」と回答した生徒の割合が、昨年度と比較して4.7ポイント減少し、令和3年度と比較して3.6ポイント増加しました。

そして、10.「家で学校の授業の予習、復習をしている」の質問項目では、生徒の肯定的評価の割合は54.9%で、昨年度に比べて1.8ポイント増加し、保護者の肯定的評価の割合は43.6%で、昨年度に比べて3.0ポイント増加しました。

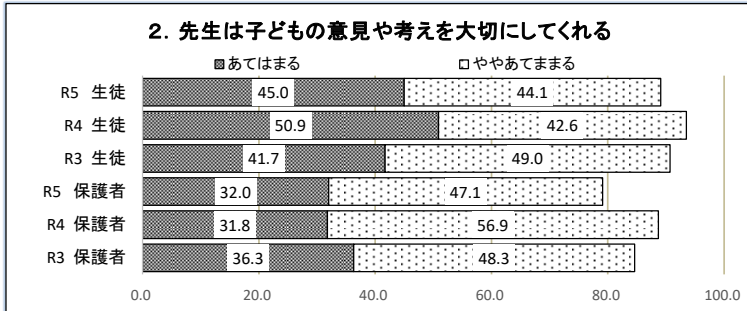
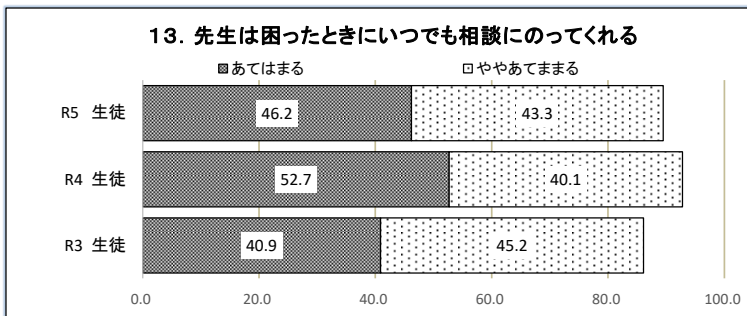
今年度も昨年度に引き続き、生徒の放課後学習や家庭学習の定着を図るため、「津田中 1 時間+α運動」、「週末宿題」に取り組んでまいりました。また、今年度も継続して「ドリルパーク」等を活用した取組も実施していますが、放課後学習や家庭学習の定着がまだまだ不十分である状況が続いています。授業で学んだことを定着するためには、放課後学習や家庭学習が不可欠です。タブレットを活用した家庭学習の推進と家庭における学習習慣を身につけたいと考えています。生活のリズムを整え、生活の中に家庭学習の時間をしっかり組み込んでいく必要と考えます。

継続して「ドリルパーク」等を活用した取組も実施していますが、放課後学習や家庭学習の定着がまだまだ不十分である状況が続いています。授業で学んだことを定着するためには、放課後学習や家庭学習が不可欠です。タブレットを活用した家庭学習の推進と家庭における学習習慣を身につけたいと考えています。生活のリズムを整え、生活の中に家庭学習の時間をしっかり組み込んでいく必要と考えます。

(2)「生徒が安心して生活できる環境づくり」にかかる質問項目について



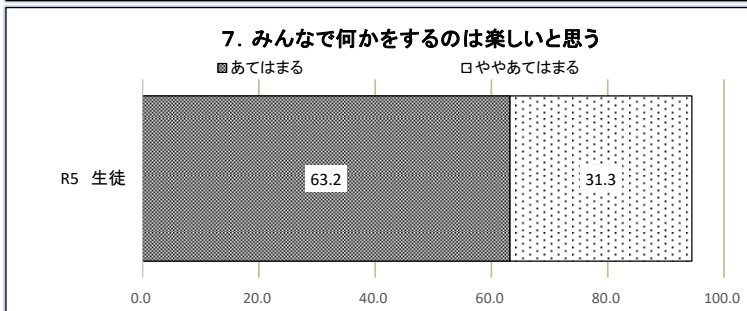
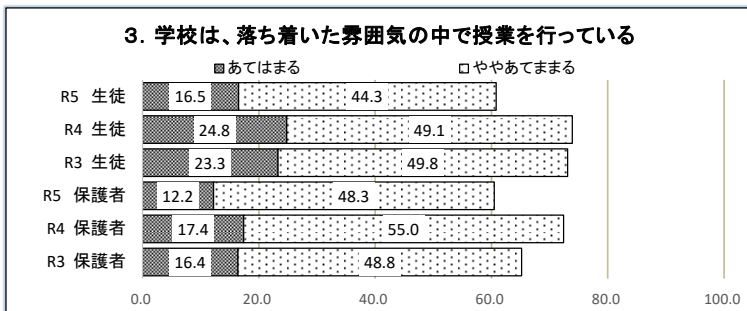
1.「子どもは学校へ行くのを楽しみにしている」の質問項目について、生徒の肯定的評価の割合は82.1%となっており、令和4年度と比較して4.6ポイント減少し、令和3年度と比較して4.8ポイント減少しています。保護者の肯定的評価の割合は75.6%で、令和4年度と比較して4.0ポイント減少し、令和3年度と比較して2.1ポイント減少しています。4.「授業はわかりやすくしっかり学べる」(再掲)の質問項目と同様に、生徒、保護者とも過去3年間でもっとも低い割合となっています。



令和4年度と比較して9.6ポイント減少し、令和3年度と比較して5.5ポイント減少しています。

各教職員は、カウンセリングマインドによる内面にせまる指導を行うとともに、生徒理解と信頼関係のもと、温かみのある指導を心がけてまいりました。今後も、正しい生徒理解のもと、信頼関係を基盤とし、温かみのある指導を推進してまいります。

(3)「共に支え、学ぶ、同僚性の高い教職員集団」にかかる質問項目について



やはり、学校生活のほとんどの時間を過ごす授業において、一人ひとりが充実した学びを実感できることが必要と考えます。

13.「先生は困った時にいつでも相談にのってくれる」の質問項目では、生徒の肯定的回答の割合は89.5%で、令和4年度と比較して3.3ポイント減少し、令和3年度と比較して3.4ポイント増加しています。また、2.「先生は子どもの意見や考えを大切にしてくれる」の質問項目では、生徒の肯定的回答の割合は89.1%で、令和4年度と比較して4.4ポイント減少し、令和3年度と比較して1.6ポイント減少しています。保護者の肯定的な回答の割合は79.1%で、

3.「学校は、落ち着いた雰囲気の中で授業を行っている」の質問項目において、生徒の肯定的評価の割合は60.8%で、令和4年度と比較して13.1ポイント減少し、令和3年度と比較して12.3ポイント減少しています。また、保護者の肯定的評価の割合は60.5%で、令和4年度と比較して11.9ポイント減少し、令和3年度と比較して4.7ポイント減少しています。生徒、保護者とも過去3年間で最も低い割合となっており、特に、「あてはまる」(強い肯定)と答えた生徒、保護者の割合が今年度大きく落ち込み、学校が落ち着かない状況、いわゆる「荒れ」の兆候が数字でも見てとれます。

7.「みんなで何かをするのは楽しいと思う」の質問項目では、生徒の肯定的評価の割合が94.5%となっています。生徒は、生徒会役員を中心に一人ひとりが“自分にできることはないか”と考えて動き、文化祭や体育祭等の生徒会行事を充実させ、成功に導いてくれました。

職場の人間関係が良いかどうかは、直接的に生徒へのより良い教育にかえていきます。私たち教職員も

生徒を見習って、一人ひとりが“自分にできることはないか”と考えて動き、共に支え、学ぶ、同僚性の高い教職員集団の形成に努めてまいります。

(4)「学校・家庭・地域の連携を活性化」にかかる項目について

学校だよりや学年通信、これまでのホームページに加えて、学校ブログを活用して生徒の様子や学校の取組、PTA や地域の皆様の活動等を積極的に発信してまいりました。令和5年12月16日現在、学校ブログのアクセス数は 234,681 件、1日あたりの平均は169.6件となっています。今後も積極的な情報発信に努めるとともに、タイムリーで効果的な情報発信の方法について研究してまいります。

また、令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが2類相当から5類相当に移行されました。教育活動もコロナ禍前の状況に戻りつつあります。保護者の皆様に対して、生徒の頑張りを直接見ていただく機会を増やしていきたいと思っております。

2. おわりに

お忙しい中、学校教育自己診断のアンケートにご協力いただきありがとうございました。

集計結果から、本校の強みや課題を知ることができました。また、今年度も生徒の頑張っている姿をたくさん知ることができました。これからも、保護者の皆様と連携を密にし、生徒がそれぞれに自分の力を発揮し、いきいきと楽しい学校生活を送ってくれることを願っています。

今後とも、本校の教育にご支援・ご協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。